

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	水産課
職	次長兼課長
氏名	武田 行生

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
漁業者の減少や漁船の老朽化が進展する状況において、新規就業者の確保育成や漁業収益の向上を促進するとともに、北陸新幹線金沢開業後のニーズの変化(県産漁の需要増加)への対応や、資源の持続的利用に取り組み、未来へつなぐ魅力ある水産業の創造を図る。	



組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか
① 新規就業者の確保や担い手の育成、青年漁業者等が活躍できる環境整備を推進する。 ② 収益の改善による競争力の強化、養殖経営体の安定した収入の確保を図る。 ③ 需要に応じた供給体制の確立、地域の特色ある水産物の魅力発信などを図る。 ④ 天然資源の管理と増殖、藻場の保全と有効活用、漁業地域の防災対策強化などを図る。	

(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する				
目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
① 新規漁業就業者数	37 人	R2 年度	40 人	R7 年度	石川県長期構想、いしかわの水産業振興ビジョン
② 能登とり貝の出荷量	64 千個	R2 年度	60 千個	R4 年度	いしかわ創生総合戦略、いしかわの水産業振興ビジョン
③④ 海女漁従事者数	200 人	R2 年度	200 人	R6 年度	いしかわ創生総合戦略、いしかわの水産振興ビジョン、文化財保護法



令和3年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
① 新規漁業就業者の確保と定住促進	移住就業の促進と定住支援、幹部船員や担い手に必要な技術の習得支援、青年漁業者や女性グループの活動促進を図る。
② 養殖経営体の安定した収入の確保	漁労支出の削減と経営多角化モデルの普及、養殖業の年間を通じた収入の確保と養殖技術の確立を図る。
③ 地域の特色ある水産物の魅力発信	高鮮度な鮮魚の安定供給に向けた体制整備や特色ある県産水産物のブランド価値向上などを推進する。
④ 藻場の保全と有効活用	効果的な資源管理手法の普及、海女を主体とした藻場保全活動の実施、海藻の有効活用、自然災害に備えた防災対策の強化などを図る。